

令和4年度年間指導・評価計画

教科	技術・家庭科	学年	第1学年	担当	技術：小角 聖 家庭：若生香里奈
----	--------	----	------	----	---------------------

【教科の目標：技術】

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活や社会で利用されている材料，加工，情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付け，技術と生活や社会，環境との関わりについて理解を深める。
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，製作図等に表現し，試作等を通じて具体化し，実践を評価・改善するなど，課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

【年間指導計画】

技術分野	4	○ガイダンス	・3年間の学習内容や学習方法，授業のねらいを把握する。
	5	○ものづくりの技術	・身の回りのものがどのように作られ，工夫されているかを知る。
	6	○材料の特徴と加工方法	・材料の種類や特徴を学ぶ。
	7	○設計（製図）	・等角図を書く。
	8	○設計	・設計の進め方を学習し，構造を丈夫にする工夫を考える。
	9	○部品加工（けがき）	・けがきの仕方を学び，さしがねを使い材料にけがきをする。
	10	○部品加工（切断）	・のこぎりの特徴を理解し，自分の作品の材料を切断する。
	11	○部品加工（部品調整）	・かんなの刃の調整や削り方，やすりがけの方法を学習し，自分の作品の部品を寸法通りに作成する。
	12	○組み立て	・きりやげんのうの使用法や特徴を学び，自分の作品の接合を行う。
		○組み立て（修正）	・さしがねを使い検査を行い，かんなやすりをを使い修正を行う。
	1	○情報の技術	・生活や社会，産業のさまざまな場面で情報の技術が使われていることを知る。
	2	○情報のデジタル化	・情報のデジタル化について知る。
	3	○情報モラルとセキュリティ	・望ましい情報社会のための態度について考える。 ・情報セキュリティについて知る。

【評価の方法】

評価の対象	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学習カード，ノート，自己評価カード	○	○	○
授業の様子（行動観察）	○	○	○
定期テスト	○	○	
作品	○		
発表（話し合い活動など）		○	○

【学習アドバイス】

- ・コンピュータの基本的な操作の方法や，コンピュータを使うときの心構えを身に付けましょう。
- ・道具の使い方や教室の使い方など様々な約束事をしっかりと守り，安全に気をつけながら活動しましょう。
- ・基礎知識や技能を向上させましょう（道具の管理をしっかりと行うこと）。
- ・ものをつくることで，身の回りのものや道具に愛着を持つ心を持ちましょう。
- ・話し合い活動を通して，互いに教え合うことで，多くの知識や考え方，技能を向上させましょう。

【教科の目標：家庭】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

【年間指導計画】

学期	月	単元・題材	学 習 活 動
家庭分野	4	○ガイダンス	・ 3年間の学習内容や学習方法、授業のねらいを把握する。
	5	○わたしたちと家族・家庭と地域	・ 中学生になった私の成長を振り返り、自分史を考える。 ・ 家庭のはたらき、家庭を支える社会、家庭生活と地域について、話し合い活動を取り入れながら学ぶ。
	6	○目的に応じた衣服の選択	・ 自分らしいコーディネートを考える。
	7		・ 衣服のはたらき、構成、入手、選び方を学ぶ。
	8		・ 基礎的な縫い方を通して、基礎縫いを定着する。
	9	○生活を豊かにする物の製作	・ 基礎縫いを中心とした手縫いの製作（手芸品）をする。
	10	○日常着の手入れと保管	・ 衣服の汚れ、素材、手入れについて学ぶ。
	11		・ 衣服の洗濯、収納、保管、補修について学ぶ。
	12	○環境に配慮した衣生活	・ 環境を配慮し、自分に合った衣生活について学ぶ。
	1	○家庭生活と消費	・ 物資とサービスについて学ぶ。
	2	○購入・支払いと生活情報 ○消費者被害と消費者の自立	・ 生活情報の活用を理解する。 ・ いろいろな購入方法、支払い方法について学ぶ。 ・ 消費者トラブルについて学習し、それを支える機関や法律について学ぶ。 ・ 消費者を支えるしくみを知り、生活に生かせるように考える。 ・ 消費者の権利と責任を理解する。
	3	○持続可能な社会	・ 持続可能な社会を目指して、よりよい生活の仕方について考え、実践しようとする意識を持つ。

【評価の方法】

評 価 の 対 象	知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	主体的に学習に取り組む 態 度
学習カード、ノート、ポートフォリオ	○	○	○
授業の様子（行動観察）	○	○	○
定期テスト	○	○	
作品	○		○
発表（話し合い活動など）		○	○

【学習アドバイス】

- ・ 授業の準備を忘れないようにしましょう。
- ・ 課題の提出は期限を守りましょう。
- ・ 用具の管理・安全に気をつけ、意欲的に授業に参加しましょう。
- ・ 話し合い活動を通して、互いに教え合うことで、多くの知識や考え方、技能を向上させましょう。
- ・ 授業で学んだことを実生活でも生かしましょう。
- ・ 4つの力を身につけましょう。（読みとる・まとめる・発表する・発表を聞く）

令和4年度年間指導・評価計画

教科	技術・家庭科	学年	第2学年	担当	技術：小角 聖 家庭：若生 香理奈
----	--------	----	------	----	----------------------

【教科の目標：技術】

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活や社会で利用されている材料，加工，生物育成，エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付け，技術と生活や社会，環境との関わりについて理解を深める。
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，製作図等に表現し，試作等を通じて具体化し，実践を評価・改善するなど，課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

【年間指導計画】

学期	月	単元・題材	学 習 活 動
技術分野	4	○栽培の基礎	・育てる場所や環境を考え，栽培する作物を決める。
	5	○土づくり	・土の種類や肥料の与え方を学び自分が育成するための土づくりをする。
	6	○植えつけ	・種まきの仕方，苗の植え方を学び自分が育成する作物を植える。
	7	○育苗について	・苗の育て方を学び自分が育成する作物を植える。
	8	○日常の手入れ	・手入れの仕方を学び，観察日誌をコンピュータでまとめる。
	9	○ソフトウェアの機能と情報処理	・文書処理ソフトを利用し文字色や大きさを工夫し栽培日誌を作成する。
	10	○発表作品作成	・図形処理ソフトを利用し，デジタルカメラから取り込んだ情報を使い，栽培日誌を作成する。
			・表計算ソフトを利用し，様々な関数の使い方を学びながら，表やグラフを作成する。
	11	○1次エネルギーと2次エネルギー	・1次エネルギーと2次エネルギーの違いを学ぶ。
	12	○工作機器・電気機器の保守と安全	・簡単な電気回路のコードに流れる電流の計算を行い，電化製品の安全な使い方を学ぶ。
			・配電盤のしくみを学ぶ。
	1	○製作	・手回し発電機を利用した製作を行う。
			・電子部品の特性を学ぶ。
			・製作物の部品点検を行う。
	2	○今後の生活と技術	・エネルギー変換からリサイクルやエコについて考える。
	3	○発表	・自分の伝えたいことを明確にし発表する。

【評価の方法】

評 価 の 対 象	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学習カード，ノート，ポートフォリオ	○	○	○
授業の様子（行動観察）	○	○	○
定期テスト	○	○	
作品	○		○
発表（話し合い活動など）	○	○	○

【学習アドバイス】

- ・授業の準備を忘れないようにしましょう。
- ・道具の使い方や教室の使い方など様々な約束事をしっかりと守り活動しましょう。
- ・基礎知識や技能を向上させましょう。
- ・話し合い活動を通して，互いに教え合うことで，多くの知識や考え方，技能を向上させましょう。

【教科の目標：家庭】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

【年間指導計画】

家庭分野	4	○ガイダンス	・今年度の学習内容を知る。
		○食事の役割と食習慣	・食事の役割や健康によい食習慣の重要性を理解する。
	5	○中学生に必要な栄養素を満たす食事	・食品の栄養素のはたらき、水や食物繊維のはたらきを理解する。
			・食品群、食品、栄養素の関係を理解する。
			・中学生に必要な栄養素や量を学ぶ。
	6	○献立づくり	・献立を立てる。
		○さまざまな食品とその選択	・生鮮食品、加工食品について。
			・保存の仕方、食品の安全を学ぶ。
	9	○日常食の調理	・調理の計画、調理の基本、調理器具の安全と衛生、取り扱いについて理解する。
	10		・肉・魚・野菜の特徴を学ぶ。
			・調理実習(計画・実習・反省)
	11	○地域の食文化	・行事食と郷土料理、会食について学ぶ。
	12	○持続可能な食生活	・食品の輸入、食料自給率 について学ぶ。
			・自分の食生活を振り返る。孤食と個食、生活習慣病について学ぶ。
	1	○住まいのはたらきとこ	・住まいの基本的な機能を理解する。
	2	こちよさ	・生活行為と住空間の関係について理解する。
	3	○安全な住まいで安心な暮らし	・家族の安全や室内環境の整え方、地域環境との関係を理解する。
			・未来の我が家について考える。

【評価の方法】

評 価 の 対 象	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学習カード、ノート、ポートフォリオ	○	○	○
授業の様子(行動観察)	○	○	○
定期テスト	○	○	
作品	○		○
発表(話し合い活動など)		○	○

【学習アドバイス】

- ・授業の準備を忘れないようにしましょう。
- ・課題の提出は期限を守りましょう。
- ・用具の管理・安全に気をつけ、意欲的に授業に参加しましょう。
- ・話し合い活動を通して、互いに教え合うことで、多くの知識や考え方、技能を向上させましょう。
- ・授業で学んだことを実生活でも生かしましょう。
- ・4つの力を身につけましょう。(読みとる・まとめる・発表する・発表を聞く)

令和4年度年間指導・評価計画

教科	技術・家庭科	学年	第3学年	担当	技術：小角 聖 家庭：若生香里奈
----	--------	----	------	----	---------------------

【教科の目標：技術】

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生活や社会で利用されている材料、加工、情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。

(2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。

(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

【年間指導計画】

月	単元・題材	学 習 活 動
4	○コンピュータと情報処理	・情報を伝える仕組みを学ぶ。
5	○デジタル化の方法	・デジタル化の仕組みについて学ぶ。
6	○ネットワークと情報セキュリティ	・ネットワークの安全性と情報セキュリティについて学ぶ。
7	○情報モラルと知的財産	・利用するときのモラルやについて考える。
8		・人権や個人情報の保護について考える。
9	○プログラムによる計測・制御	・プログラムによる情報の処理についての知識を身に付ける。
10		
11	○プログラムによる計測・制御	・プログラムによる計測と制御を行う。
12	○双方向性のあるコンテンツを利用した制御	・双方向性のあるコンテンツのプログラムの仕組みについて学ぶ。
1	○双方向性のあるコンテンツを利用した制御	・双方向性のあるコンテンツでのプログラミングを学ぶことで、自分オリジナルのプログラムを作成する。
2	○情報に関する技術とわたしたち	・情報に関する技術のについて、社会的、環境的、経済的側面などから長所、短所、課題解決策を考える。

【評価の方法】

評 価 の 対 象	知識・技能	思考・判断 ・表現	主体的に学習に取り組む 態度
学習カード、ノート、ポートフォリオ	○	○	○
授業の様子（行動観察）	○	○	○
定期テスト	○	○	
作品	○		○
発表（話し合い活動など）			○

【学習アドバイス：技術】

- ・コンピュータや教室の使い方など様々な約束事をしっかりと守り、ルールやマナーに気をつけながら活動しましょう。
- ・基礎知識や技能を向上させましょう（道具の管理をしっかりと行うこと）。
- ・エコやリサイクルなどの話し合い活動を通して、互いに教え合うことで、多くの知識や考え方、技能を向上させましょう。

【教科の目標：家庭】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

【年間指導計画】

月	単元・題材	学 習 活 動
4 5 6	○幼児について ○幼児の体と心の発達	・乳児期・幼児期についての区分や成長を知り、小さかった頃の自分を振り返る。 ・幼児の体と心の発達について学ぶ。
7 8	○幼児の心身の発達 ○幼児の衣生活・食生活	・基本的な生活習慣と社会的な生活習慣について学ぶ。 ・幼児に適した衣服について学ぶ。 ・幼児の成長に合った食事や間食について学ぶ。
9 10 11 12	○幼児の遊びと発達 ○製作	・幼児にとっての遊びの意義・重要性について学ぶ。 ・遊び方の年齢による変化を学ぶ。 ・幼児の生活に役立つ物の製作を行う。 ・幼児に身に付けさせたい成育習慣や教えたこと等を盛り込めるように工夫する。
1	○子どもの成長と地域	・子どもの成長と地域とのかかわりについて理解する。
2 3	○これからのわたしと家族	・さまざまな家族形態を知り、その変化を学ぶ。 ・現代社会における幼児を取りまく問題点を知り、将来の自分の生活を考えられるようにしたい。

【評価の方法】

評 価 の 対 象	知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	主体的に学習に取り組む 態 度
学習カード、ノート、ポートフォリオ	○	○	○
授業の様子（行動観察）	○	○	○
定期テスト	○	○	
作品	○		○
発表（話し合い活動など）			○

【学習アドバイス：家庭】

- ・授業の準備を忘れないようにしましょう。
- ・課題の提出は期限を守りましょう。
- ・用具の管理・安全に気をつけ、意欲的に授業に参加しましょう。
- ・話し合い活動を通して、互いに教え合うことで、多くの知識や考え方、技能を向上させましょう。
- ・授業で学んだことを実生活でも生かしましょう。